
MEMORY STORY

宮 毬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MEMORY STORY

【Nコード】

N3054BA

【作者名】

宮琵琶

【あらすじ】

最後はハッピーエンド(?)です

誰かに頼りたくない 困らせたくない

誰か？…誰でもない君だった

君だけの物語 そこに私は何回登場出来る？

道端で見つけた捨てられた子犬

まるで私のよう…でも私にはかわいく鳴いて君を呼ぶことさえ出来ない

私の世界は真っ暗で君と違って明るい世界ではないんだよ

行く先も闇ばかりで君のように終着点なんて見えない

らしくないけれど助けを求めてみるけれど…助けなんて来ないよ

「私のため」は「一人のため」で

一人を愛しすぎた私には誰も来ない

今日も世界が変わっていく

ほらここだよって負けるつもりで掲げる白旗

黒く塗りつぶされる白星に君の笑顔が映っていた

孤独か私か

曖昧な時間だけが私を壊していく

些細な言葉もいつも通りの空も

明快な答えだけを求めている

モノクロのフィルターがかかった私の目には何もかも色あせて見えるんだよ

世界最大級の渴きがそれ以上の愛を求めて彷徨う今日も

誰かを求めて 存在を求めて…君を求めて

君の世界はカラフルで私と違ってモノクロの世界ではないんだよ
もしも君が私のことを忘れたら私はどこで存在いきていけばいいの？
君の記憶から私がいなくなったら私は誰の思い出せかいの中いにいるの？

「愛を語るなんてガキのすることじゃない」って
もうオトナなのと言いつ張って愛を知ったかぶり

「愛なんて語れない」

コドモだから？違う一人だから

私は君と違って真つ白でないんだよ
真つ黒で何もかも染めてしまうんだよ
だからお願い 近寄らないで
君まで黒くならなくてもいいんだよ

回る世界の中心点

そこには私だけただ冷酷に世界の変貌を見つめている
モノクロの膜が目張って君まで黒く見えてしまう

望んではっきりで立ち上がれないんだよ

「君の記憶」にあと何回出てくれる？

「私の思い出」の主人公は君なんだよ

いつもセツナイって言いつ捨てて

君を待っていたんだよ

「待っていた」なんて聞き間違いじゃないよね？

手を取りあつて灰色になれば…

黒色^{わたし}と白色^{きみ}で灰色^{ふたり}になれば不協和音でもないはず
君が言つたんだよ…信じてもいいでしょう？

真つ暗な世界で見た君は私の希望…それも悪くない

モノクロに色づく私の世界に色を塗る君は笑っていたんだよ

渴きに飢える思い出は愛を求めた
隅っこを求めた世界の中心点
全てを見下ろすの
君と私で手をつないで

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3054ba/>

MEMORY STORY

2012年1月10日18時52分発行